

## がんゲノム特別外来へご紹介いただく先生へ

平素は京大病院の診療にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当院では以下に掲載しております保険診療および自費診療の「がん遺伝子パネル検査」（以下、パネル検査）を実施しております。これらの検査は次世代シーケンサーを用いて、がんに関連した多くの遺伝子変異を一度に解析し、患者さんの治療に役立つ可能性のある情報を提供することを目的としています。

実施しているがん遺伝子パネル検査の概要は以下の通りです。

### 1. パネル検査の種類について

#### -1 保険診療

##### ・がんの組織で行う検査

検査の種類	OncoGuide™ NCC オンコパネルシステム	FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル	GenMineTOP®がんゲノム プロファイリングシステム
検体の種類	組織+血液	組織	組織+血液
調べる遺伝子数	124(DNA)	324(DNA)	737(DNA)+455(RNA)
費用	「4. パネル検査費用について」をご参照ください。		
適応	<ul style="list-style-type: none"><li>標準治療がない固形がん患者さん</li><li>局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者さん（終了が見込まれる方を含む）</li><li>関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態及び臓器機能等から、本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した患者さん</li></ul>		

##### ・血液で行う検査（血液中に漏れ出たがん由来の遺伝子を調べる検査）

検査の種類	FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル	Guardant360®CDx がん遺伝子パネル
検体の種類	血液	血液
調べる遺伝子数	324(DNA)	74(DNA)
費用	「4. パネル検査費用について」をご参照ください。	
適応	<ul style="list-style-type: none"><li>標準治療がない固形がん患者さん</li><li>局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者さん（終了が見込まれる方を含む）</li><li>関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態及び臓器機能等から、本検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した患者さん</li></ul> <p><b>血液を調べる検査では、上記に加え、以下いずれかに該当される方となります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>腫瘍組織検体がない、あるいは検体の準備が難しい患者さん</li><li>固形腫瘍の腫瘍細胞を検体として実施したがんゲノムプロファイリング検査において、包括的なゲノムプロファイルの結果を得られなかった患者さん</li><li>そのほか、主治医・担当医が適切と判断した患者さん</li></ul>	

## -2 自費診療

検査の種類	Guardant-360LDT
検体の種類	血液
調べる遺伝子数	739
費用	「4. パネル検査費用について」をご参照ください。
適応	<ul style="list-style-type: none"><li>パネル検査を希望しているが、保険診療の適応とならない患者さん</li></ul> <p>※自費診療になりますので、検査後の医療費は全額自己負担となる可能性があります。</p>

## 2. パネル検査に使用する検体や必要書類などについて

- 組織を用いたパネル検査には病理組織検体が必要です。
- 病理組織検体のご準備は、紹介元の医療機関にてお願いします。

※ FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査、Guardant360® CDx がん遺伝子パネル、Guardant-360LDT をご希望の場合は、下記「(5) 病理組織検体」は不要です。

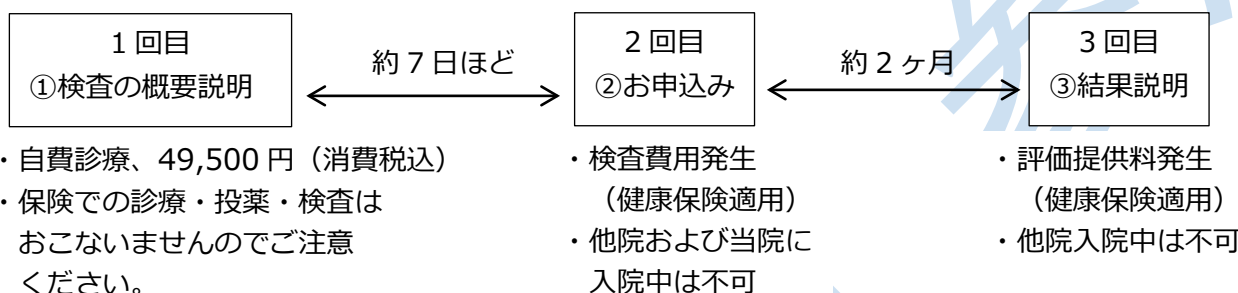
**必ず下記の書類を一式揃えて、京大病院 地域医療連携室宛にご郵送ください。**

必ず下記のものがそろっているかをチェックしてください。

- (1) 診療情報提供書
- (2) 画像データ
- (3) 血液データ
- (4) 臨床経過サマリー (EP 前まで) : 所定の様式を印刷したもの [[Word 版](#) / [PDF 版](#)]
- (5) 病理組織検体  
「がん遺伝子パネル検査用 病理組織検体取寄せ依頼書」に記載された条件を満たした検体
- (6) 病理組織診断報告書

### 3. がんゲノム特別外来受診について

- がんゲノム特別外来受診料（1回目）は、自費診療として49,500円（消費税込）が発生いたします。その他に、別途パネル検査費用が必要となります。
- 原則、検査を受けられるご本人の来院が必要です。
- がんゲノム特別外来では、①検査の概要説明②お申込み③結果説明と計3回の来院が必要です。
- 特に1回目の検査概要説明時には重要事項の内容も含まれるため、原則ご本人以外の方にもご同席をお願いいたします。
- 検査の選定にはいくつかの条件があります。1回目の来院時に直接ご本人と検査の選定についてご相談させていただきます。
- パネル検査に基づく専門家チームの検討結果は約1ヶ月半～2ヶ月程度で担当医からお伝えできる見込みです。



#### 4. パネル検査費用について

現金またはクレジットカードでのお支払いが可能です。

##### -1 保険診療

検査費用に公的保険を適用するためには、患者さんご本人が検査結果の説明を受ける必要がありますので、必ず当院の外来にお越しください。

<ご注意> 結果説明は、他院入院中におこなうことができません。

検査の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>OncoGuide™ NCC オンコパネルシステム</li> <li>FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル</li> <li>GenMineTOP® がんゲノムプロファイリングシステム</li> <li>FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル</li> <li>Guardant360® CDx がん遺伝子パネル</li> </ul>
がんゲノムプロファイリング検査費用	<p><b>検査申込み時</b>にお支払いいただきます</p> <p>医療費の自己負担割合によって費用が異なります</p> <p>3割負担の場合は、税込みで<b>約 150,000 円が請求されます</b></p> <p>※高額療養費制度や限度額適用認定証が適用になります</p>
がんゲノムプロファイリング評価提供料	<p><b>結果説明時</b>にお支払いいただきます</p> <p>医療費の自己負担割合によって費用が異なります</p> <p>3割負担の場合は、税込みで<b>約 40,000 円が請求されます</b></p> <p>※高額療養費制度や限度額適用認定証が適用になります</p>
検査が中止となった場合	<p>検体が遺伝子解析に適さず（検体の状態が悪くて遺伝子解析ができない等）、検査が中止となった場合でも、<b>「がんゲノムプロファイリング検査費用」の返金はありません</b>のでご了承ください</p> <p>組織で行う検査が中止となった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>別の組織検体があれば、検査に出し直すことができます→追加費用はかかりません</li> <li>血液で行う検査に変更できる場合があります→再度、検査費用が発生します</li> </ul> <p>※具体的な対応については、担当医の判断になります</p>

検査後の薬剤費など治療に関する費用は本検査費用には含まれていません。

##### -2 自費診療

がんゲノム特別外来 1 回目受診時に検査の申込みが可能です。

検査	費用
Guardant-360LDT	591,910 円（税込）

検査後の薬剤費など治療に関する費用は本検査費用には含まれていません。

## 5. その他

- 保険診療のパネル検査では、患者さんが C-CAT（がんゲノム情報管理センター）へのデータ提供にご同意いただいた場合、6ヶ月ごとに追跡調査（エキスパートパネル開催後の薬物療法、転帰情報）が発生します。そのため、貴院に追跡調査の書類をお送りしますので、ご記入のうえ返送をお願いします。
- 検査後の治療に関しましては、原則ご紹介をいただいた医療機関にてお願いしておりますが、自施設での対応が難しい場合は当院までご相談ください。
- 候補となる治験や臨床試験が見つかった場合、実施施設への問合せについてはご紹介をいただいた医療機関にてお願いいたします。

【お問い合わせ先】京都大学医学部附属病院 地域医療連携室  
TEL 075-751-3110（※ 受付時間 平日 9:00～17:00）